



失樂園の奴隸

































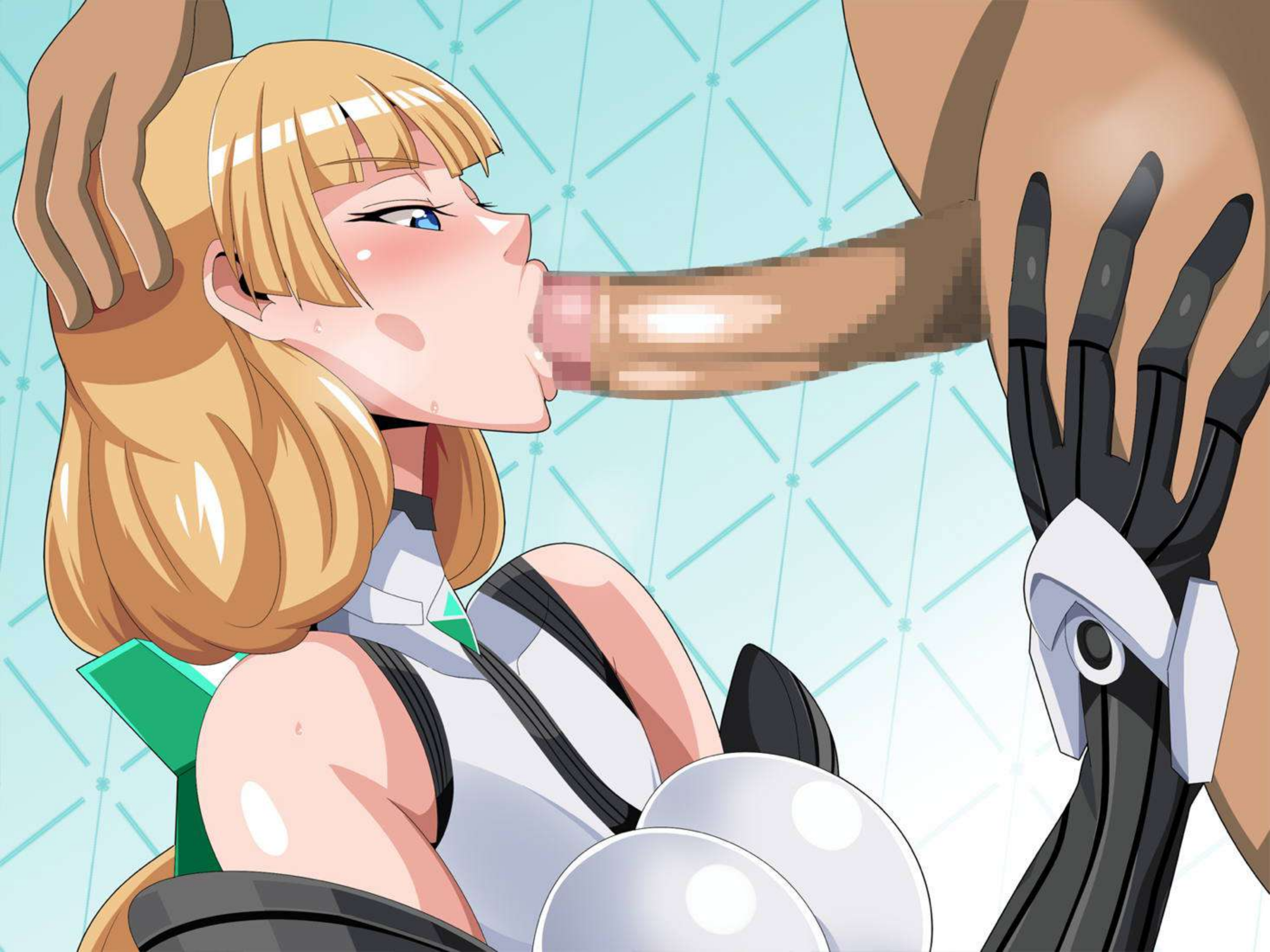




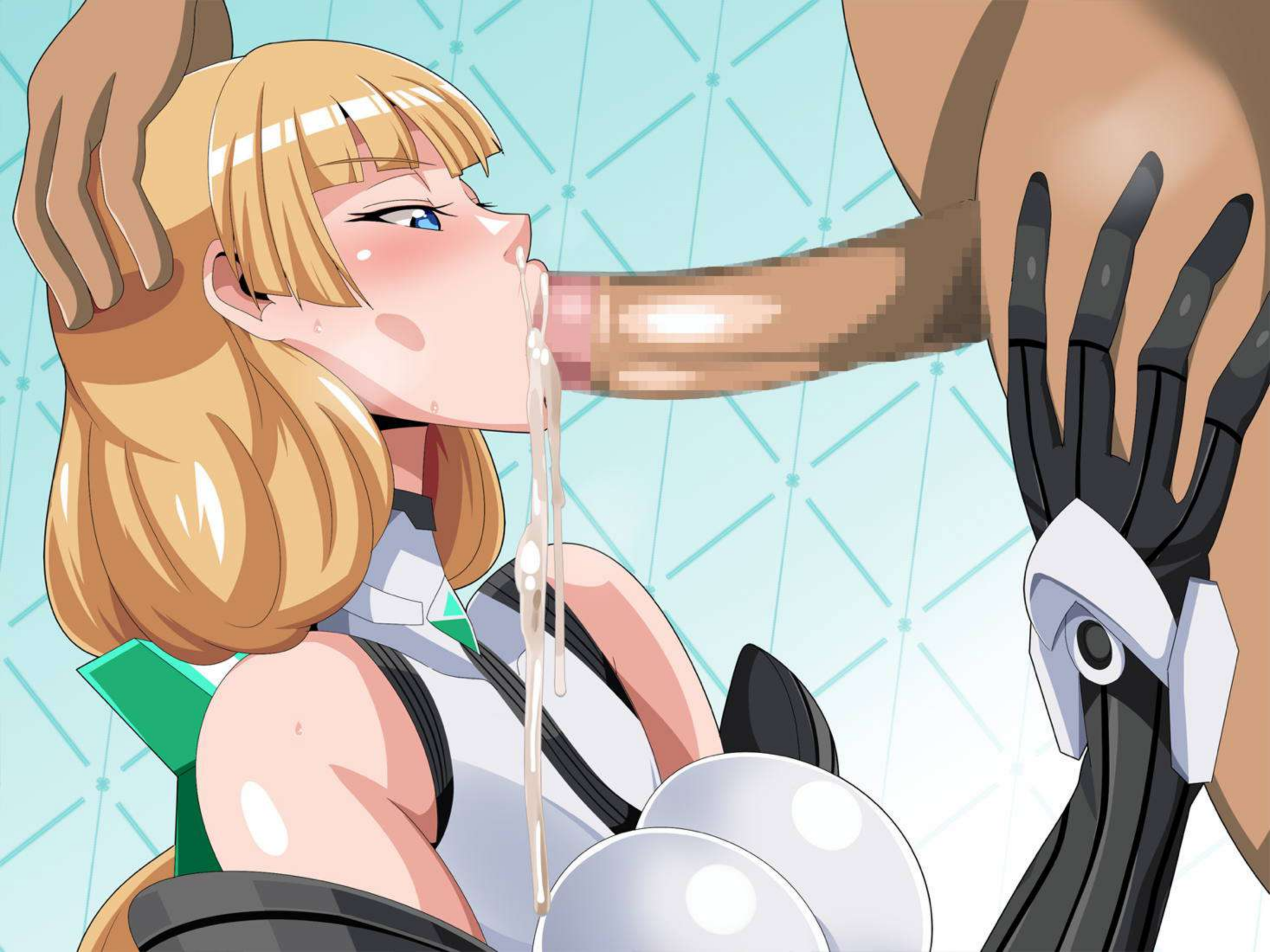




















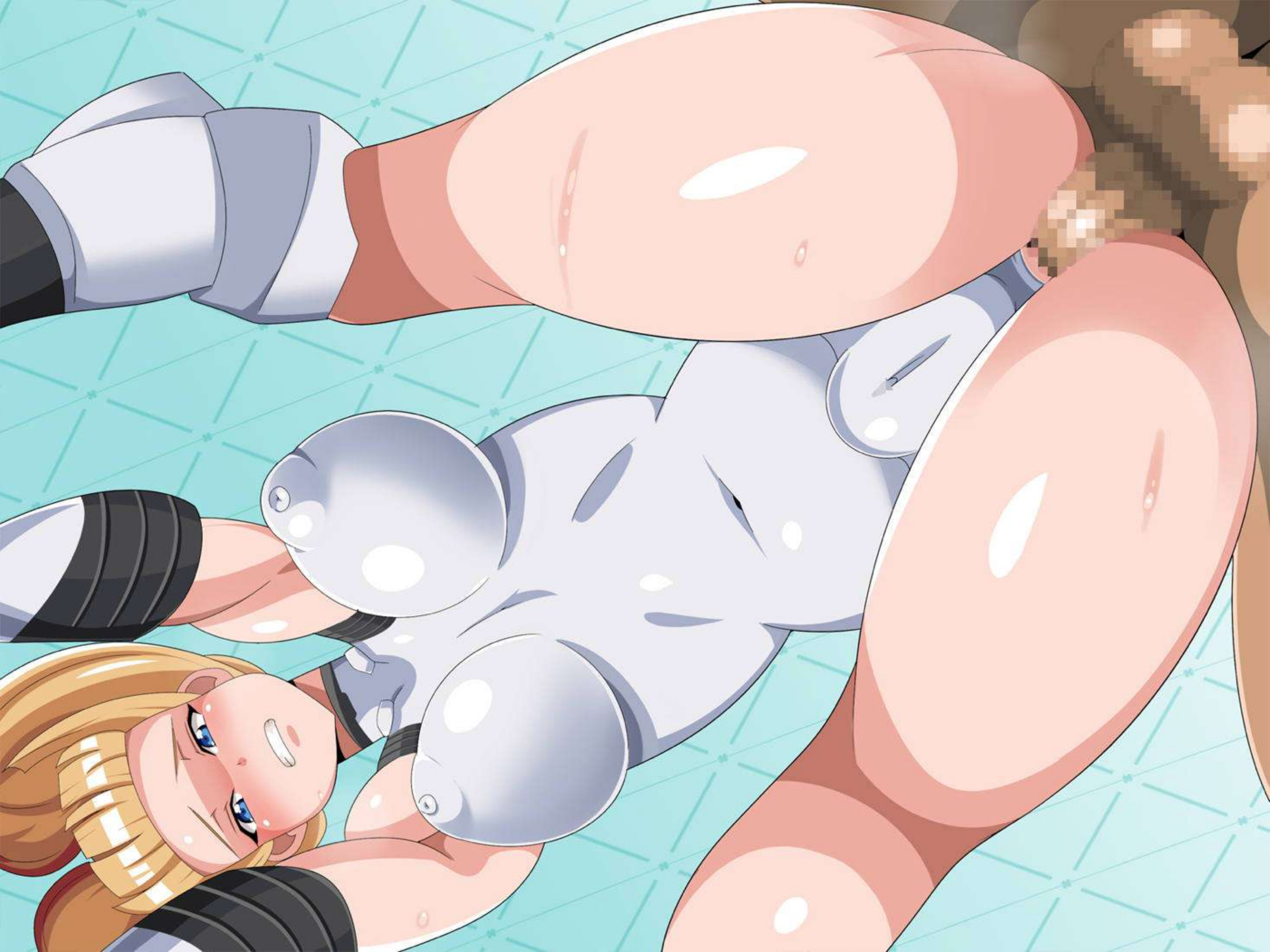










































「アロジセラ・バルザック三等官、リアルワールドでの任務にあたり、マテリアルボディにおけるどんな拷問にも耐えらわねるであろうが簡単な検査を致します」

「何よ「これ、拷問って……」「んなのただのセクハラじゃない！」















と"  
て<sup>o</sup>ち  
!

と"  
と<sup>o</sup>ち  
...



「拷問官の様々な性癖に対処するため、

」のような特殊なプレイにも慣れる必要があります」

「だからって、麻でって……どんな変態なのよ。

スーツの中でっわって、気持ち悪い」







ぴゅ

ぴゅ  
る

と  
ぴゅ

ぽお



「回淫技術・未発達……イラマチオに移行される危険性あり  
そのように反抗的な目は逆に拷問官の嗜虐性を煽ってしまふぞ」

「ふん、ふんほ……んんんんわっわわー！  
ふん、ふんるるる……ぐほ、ぐほー！  
「これがマテリアルボディの男性器……なんて臭いなの」





うん  
うん  
うん  
うん

と  
うん  
うん



「女性器・未発達、膣分泌液・やや多め、膣臭度・やや高めです  
性器を清潔にするように心がけてください」

「や、やめてー冷静に分析しないでー」

「まだ」のボディのメンテに慣れてないだけよー」







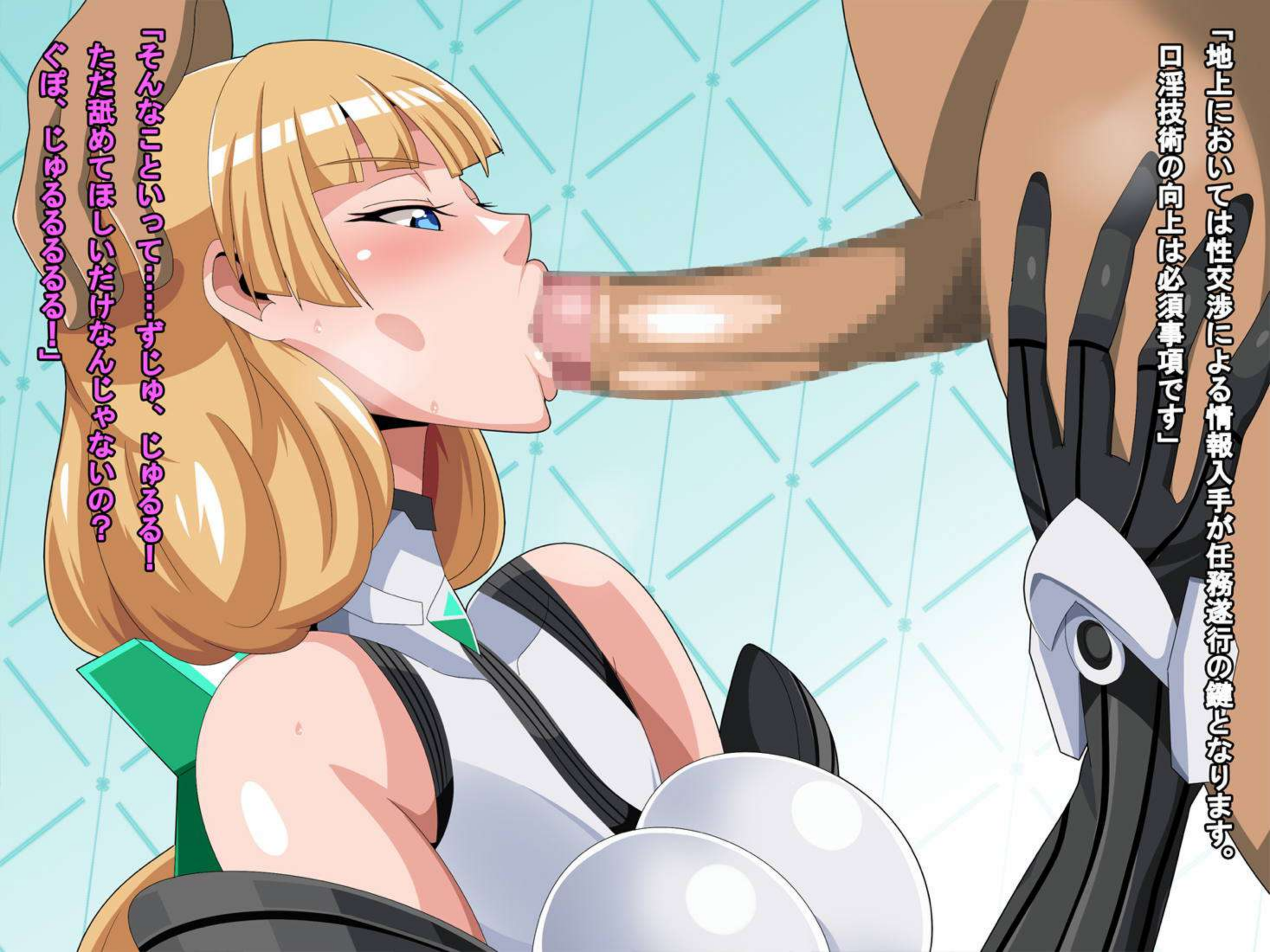
じゅあ  
あ

じゅん  
ん♡

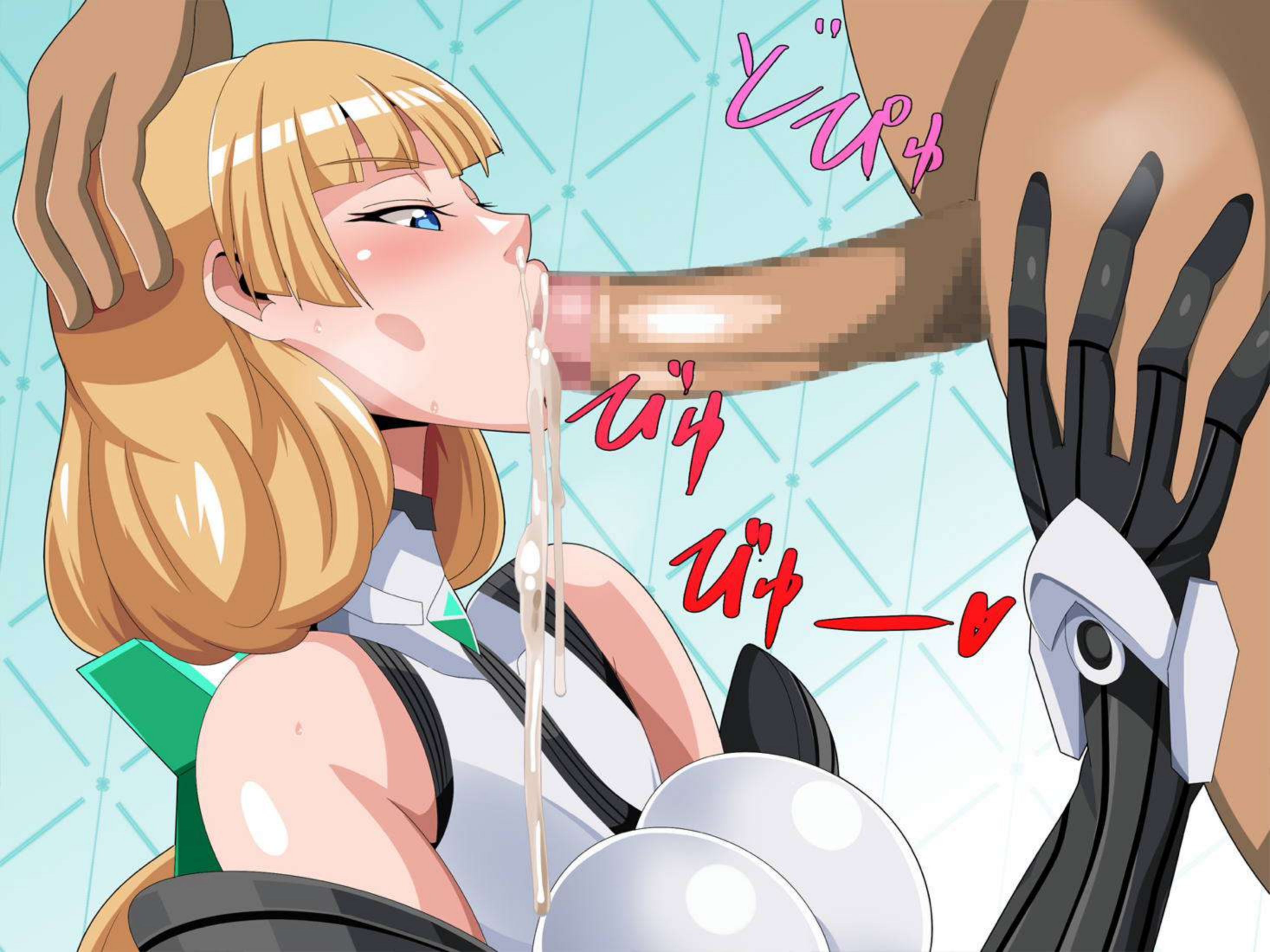


「地上においては性交渉による情報入手が任務遂行の鍵となります。  
口淫技術の向上は必須事項です」

「そんな」とらって……ずじゅ、じゅるるー！  
ただ舐めてほしいだけなんじゃないの？  
ぐん、ぐんるるるー！」







とてぽち

びゅ

びゅ

→





「性器への挿入を許してしまうと、マテリアルボディへの内部損傷、性病の危険等あります。できるだけ挿入以外の対処法を模索しましょう」

「それでスマタとか……」の服が妙に通っているのが腹立つわ」





とろお

どろ



「これは訓練ですので、実際に男性器を挿入し、  
刺激に慣れていたいただきます」

「あっあっあッあッー」  
もう、「んなのただのセックスじゃない！」





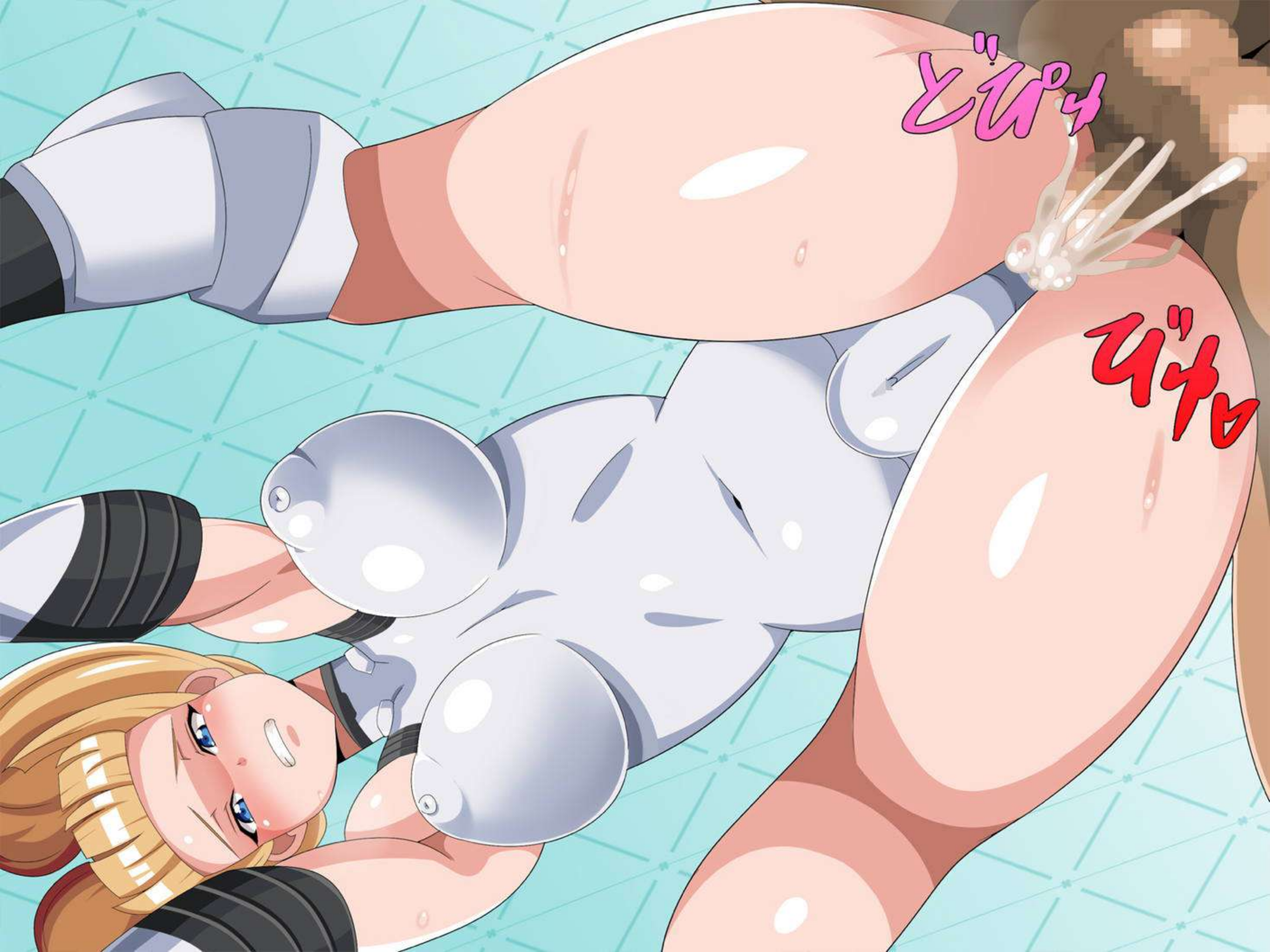




「肛門による性処理も、妊娠の危険がないため、有効な手段のひとつです。  
ア〇ジエラ・バルザック三等官は尻穴で感じる  
非常に高いアナルファック適正を持っています」

「ふんげないで、ん……誰がお尻でなんか感じる……ものですかー」





とっぴん

とっぴん









とっぴん

とっぴん

とっぴん



「それでは最後の訓練です。

今から本気でイカせるフアックをしますので、快楽の波に耐えてください」

「あっあっあっあっーダ、ダメーそんな急にー！

「のチンポ、デカすぎて奥にズンズン響くのー！

あっあっあっあっー！」「こんなの耐えられないー！」





とっちゅっ

どっちゅっ

とっちゅっ









アッ

ほお♡

とっ♡